

〔書言字考節用集服六〕三尺手拭支那上古以皂羅三尺、裏頭爲軍、

〔女用訓蒙圖彙衣服〕三尺手拭成之服、然則本朝所制亦有據乎、

〔出陣荷物貫定〕足輕一人二付

一三尺手拭 十三匁 一筋 一手拭 九匁 一ツ

旗指一人荷積

一三尺手拭 十三匁五分 一筋 一手拭 九匁 一筋

役武者荷積

一三尺手拭 十三匁五分 一筋

士大將荷物貫目

一三尺手拭 四十一匁 三筋 一手拭 七十目 五筋

〔嬉遊笑覽服二上〕大幣端歌の内に、くれなるの三尺手拭、かたみにせよとておいてゆく、

〔雅筵醉狂集春一〕藤花

咲藤のはなのまなひをさし見ればまかも鯨の三尺あまり

伊勢物語に、あやしき藤有けり、花のまなひ三尺六寸ばかりなん有ける、略中

紫アサギ幌アサギ藤三尺

字彙、幌拭手者とあり、狂句前の物語を用ゆ、俗に三尺手拭といふあり、

〔下學集下〕汗拭又云

〔饅頭屋本節用集財安〕汗拭

〔易林本節用集食阿〕汗拭

〔書言字考節用集服六〕汗巾又作

以用法爲名